



ありがとう 鐘の鳴る丘コンサート

2/27 有明高原寮「鐘の鳴る丘コンサート」

短期処遇の男子少年院・有明高原寮（関伸平寮長）は2月27日、最後の「鐘の鳴る丘コンサート」を開催しました。このコンサートは昭和57年、篤志面接員の西山紀子さん（穂高）の提案でスタート。地域住民らが合唱に加わり、イベントと少年たちの心をはぐくんできました。イベントを支える「鐘の鳴る丘歌う会」のメンバーが高齢化し、30周年の節目を持って幕を下ろしますが、少年たちの合唱の取り組み、交流は今後も続きます。関寮長は「いつでも高原寮に来てください。これまでと同じように温かい心を分けてくれるとうれしいです」と話しています。



個性豊か「おひさま御膳」

2/21 「おひさま御膳」試食内覧会

安曇野を舞台としたNHKの連続テレビ小説「おひさま」が、いよいよ3月28日から放送開始となります。これに合わせ、市内55の飲食店や宿泊施設が提供する「おひさま御膳」の完成内覧会が、豊科保健センターで開かれました。地元の食材をふんだんに使用した「おひさま御膳」は各店舗がそれぞれに考案。放送開始をめぐって提供が始まります。詳細については4月1日から安曇野市商工会HPでご覧いただけます。

目指せ！子どもの運動能力向上

2/17 豊科北小で コーディネーショントレーニング

子どもたちの運動能力や体力を向上し、多様な動き、巧みな動きを身につけてもらうため、市教育委員会ではコーディネーショントレーニングの普及を図っています。コーディネーショントレーニングとは、いわゆる「運動神経の良さ」を鍛えるためのトレーニング方法で、競技スポーツの競技力を高める効果も大きく、プロスポーツの世界でも取り入れられています。本年度は豊科北小4年生と明南小5年生が計8回の授業を受けています。

2月17日に豊科北小学校で行われた授業では、児童31人が平均台の上でボールを操る練習など行い、楽しみながら体を動かす感覚を鍛えました。市体育指導委員の細野築三さん（穂高）は、「明らかに子どもたちの動きが変わりました」と手応えを話します。指導を受けたモレイラ・マテウス・マサオさん（小4・豊科）は、「みんなが明るく笑顔でできた」と授業を振り返っていました。

コーディネーショントレーニングは年齢を問わず効果があり、市教育委員会では来年度、体験講座（5月予定）や指導者向けの講習会を開催する予定。小学校での授業も拡充してさらなる普及を目指しています。



ひとつの町が 減びるのは…

2/11 防災アドバイザー 山村武彦さん講演

市では、防災・危機管理対策の第一人者である山村武彦さん（防災システム研究所長）の講演会を2月11日、堀金総合体育館で開催しました。

山村さんはまず、英国の歴史学者トインビーの「ひとつの国が減びるのは戦争によってではない。天変地異でもなければ経済的破たんによってもない。国と国民の道徳が失われたとき、その国は減びる」という言葉を挙げ、まちづくりにおいても、一人一人の防災意識の向上と隣人同士が支え合う心が不可欠であると強調しました。さらに、「ただがんばるのではなく、具体的な数値目標を持たなければ防災は進まない」と、自主防災組織の課題を挙げました。

聴講した自主防災会や消防団員ら250人は、臨場感あふれる話に真剣に耳を傾けていました。

母さんの愛は 永遠に

2/16 安曇野市交通安全母の会解散式

安曇野市交通安全母の会（遠藤エツ子会長）の解散式が2月16日、豊科総合支所で開かれました。同会は平成5年に発足。手作りの啓発物品の配布や街頭啓発など、ボランティアで活動に取り組んできました。また、平成20年には県内初となる内閣府委託事業「3世代ふれあい交通安全のつどい」を主催するなど、家庭から進める啓発活動を先導的に進めてきました。遠藤会長は、「会は閉じますが、私たちは一生、母。命の尊さを胸に刻み、『交通安全は家庭から』のモットーを守り抜きたい」と話してくれました。



市民のノウハウ 活用して

2/12 安曇野環境市民ネットワーク・フォーラム2011

市と環境市民ネットワーク（宮崎崇徳座長）は2月11日から3日間、「安曇野環境市民ネットワーク・フォーラム2011」を豊科交流学习センター「きぼう」で開催しました。12日の発表会には、市内小中学校の環境学習の事例、各団体が作成した環境プログラムを紹介しました。同ネットワークでは来年度、小中学校や公民館にこのプログラムを提供する事業をスタートさせます。宮崎座長は「環境を学びたい人と市民の活動をつなぐことがねらい。豊富なプログラムをぜひご覧いただきたい」と活用を呼びかけています。プログラムの内容は生活環境課（☎82・3131、☎82・6622）でもご覧いただけます。